

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和04年03月28日

計画の名称	利便性と魅力を高めるまちづくり														
計画の期間	平成31年度 ~ 令和02年度 (2年間)												重点配分対象の該当	○	
交付対象	金沢市														
計画の目標	地区内における交通結節機能の向上と景観形成や交流空間等の整備により品格あるまちづくりを推進し、交流拠点都市として魅力を高める。														
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）		5,052	A	5,004	B	0	C	48	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0.95	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H24	H28	R2
1	観光入込客数の増加 7,942千人 / 年（H24）から11,200千人 / 年（R2）			
	金沢地域における観光入込み客数を測定する。	7942千人 / 年	8000千人 / 年	11200千人 / 年
2	市内のJR駅の年間定期外利用者数の増加 4,055,920人 / 年（H23）から6,300,000人 / 年（R2）			
	J R 駅（金沢駅、西金沢駅、東金沢駅、森本駅）の定期外利用者数を測定する。	4055920人 / 年	4361000人 / 年	6300000人 / 年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
石川中央都市圏ビジョンに基づき実施される要素事業：A10-001本来の計画期間はH26年度からR2年度まで 第11回変更												

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	金沢市	直接	金沢市	-	-	金沢中央地区都市再生整備計画	博物館、公園、道路等860ha	金沢市	■	■				5,004		策定済		
		・本来の計画期間はH26年度からR2年度まで																			
												小計						5,004			
											合計							5,004			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	C10-001	都市再生	一般	金沢市	直接	金沢市	-	-	事業評価	金沢都市再生整備計画の事業 評価	金沢市	■	■				3		-
		都市再生整備計画事業の評価を行うことで効果を高める。																	
	C10-002	都市再生	一般	金沢市	直接	金沢市	-	-	消防水利標識整備事業	消火栓塗装	金沢市	■	■				2		-
		消火栓を景観に配慮した色に塗装することにより、まちの魅力を向上することで、都市再生整備計画事業の効果を高める。																	
	C10-003	都市再生	一般	金沢市	直接	金沢市	-	-	障害者バリアフリー推進 事業	オストメイト対応トイレ整備 等	金沢市	■	■				3		-
		バリアフリー対応の整備を行うことにより、障害者の利便性を向上し、都市再生整備計画事業の効果を高める。																	
	C10-004	都市再生	一般	金沢市	直接	金沢市	-	-	中心市街地都市機能向上 事業	都市機能向上に資する構想・ 計画策定等	金沢市	■	■				40		-
		都市再生整備計画事業のエリア内の重要地区において構想・計画を策定し、都市機能再生を進めることで効果を高める。																	
											小計						48		
										合計						48			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

金沢市社会資本総合整備計画評価委員会

事後評価の実施時期

令和3年2月

公表の方法

金沢市ホームページおよび都市計画課窓口

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

新幹線開業に伴い、観光施設の入館者や商業地を通行する人数が増えるなど、交流人口の増が図られた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

中心市街地都市機能向上事業の具現化にかかる社会実験では、5年間柿木畠商店街とワーキングを開催し、今後のまちづくりに
ついて議論や勉強を重ねてきており、そのプロセスを今後につなげるのが重要である。

○特記事項（今後の方針等）

まちなか定住のため、子育て世代や子供の居場所や遊び場づくりが必要である。
まちなかは歩道が狭いため、積雪時に住民・観光客ともに歩きにくく、安全性が低下するため
融雪装置ではなく、ロードヒーティングの検討も必要である。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	11200千人 / 年	北陸新幹線開業を見込み、目標値を設定したが、平成30年よりほぼ横ばいが続いた。
	最 終 実績値	10446千人 / 年	
2			
	最 終 目標値	6300000人 / 年	北陸新幹線開業に伴い、金沢を訪問する人が増えたため
	最 終 実績値	6801967人 / 年	